

2012年

主将、白石のもとで

RAVENSは新たな

歴史を創る。

一部リーグ残留、

入れ替え戦回避

そこで終わっていいのか？

さらに上へ、上へ。

# 全ては勝つために



選手、コーチ陣、スタッフ

全ての部員が

全力で取り組む。

全ては勝つために

新しいRAVENS、始動。



# RAVENS

Vol.172

神戸大学体育会  
アメリカンフットボール部  
〒657-8501  
神戸市灘区六甲台町 1-1  
Tel : 078-802-0223  
Fax : 078-861-5628  
E-mail : ravens@kobe-u.com  
<http://home.kobe-u.com/ravens/>

# RAVENS便り 2012.2

# 2012年度 幹部紹介



**主将 #92**  
**白石 健太**



**副将 #7**  
**林 将義**



**チーフトレーナー**  
**堀之内 優美**

国立で強豪私立を倒す。そのためにわたしはRAVENSに入部しました。しかし、1年時は屈辱の入れ替え戦出場、2・3年時も入れ替え戦回避がやっと。これまでの3年間全40試合中、勝ったのは14試合しかありません。このチームの現状に、これまでに何度も悔しい思いをしてきました。

現在チームは昨年先輩・コーチの方々が作り上げてくださった身体作りのベースをもとに、新たな取り組みも試みながら、例年より予定を前倒しに活動しています。上位チームに勝つためには何が足りないのかをよく考え、どれだけ厳しいのか取り組みになったとしても、自分の抱えている悔しさ、勝った時に喜びのために、自分が率先して取り組み、チームを引っ張っていかうと思います。

**全ては勝つために**

本当に大学から始めた素人QBでしたが、2・3回生時には試合に出させていただくことができ、3年間必死にやってきました。今までは、経験がないからとどこか甘えていた部分があり、自分に妥協する部分もありました。しかし、今ではもう未経験者だということも通用しません。誰にも甘えることのできない立場になりました。だから、今年は自分をどこまで追い込むことができるのか、自分をどこまで成長させることができるのか、自分に妥協せず、自分に挑戦する年だと思っております。

副将という立場として、主将を支えチームを引っ張ることはもちろんですが、やはり僕自身QBとしてチームを勝利に導けるQBになることが一番だと思っておりますので、その覚悟で悔いのないように自分に挑戦したいと思えます。

2012年度 RAVENS チーフトレーナーを務めさせていただきます、堀之内です。

昨年度は強豪校に当たり負けしないようフィジカルアップに重点を置き、トレーニングや食事に取り組んでまいりました。成果が見られた点もありましたが、成績の通り私たちはまだまだ上位校に届いていません。本年度のトレーナーチームは、さらなるフィジカルアップとスピードに力を注ぎ、昨年以上の取り組みをしてまいります。全ては勝つために、チームを強くするために、自分自身がトレーナーとして出来ることは、部の一員としてすべきことをひとつひとつ妥協せず、この一年間を過ごしていこうと思っています。

最後になりましたが、私たちがこのように日々活動できているのはRAVENSを支えてくださる皆様のおかげです。ありがとうございます。



**副将 #8**  
**長渕 晟弥**



**副将 #19**  
**塩見 健斗**



**主務**  
**仲谷 一宏**

いつもRAVENSを応援して下さる皆様に、心より感謝申し上げます。

副将としてチームにかかわっていく中で、主将の白石のもとでチームを支えるだけでなく、個人としても成長し、自らチームを牽引していけるようになりたいと思っています。

今年度のスローガンは「全ては勝つために」。このスローガンの通り、日々の取り組みから勝利を意識し取り組んでいきたいと思えます。

また、中途半端なことをしていれば、日々の取り組みが逆にチームを勝利から遠ざけるということを忘れず、甘えず、日々を積み重ね、やり残したことが無いようにシーズンを迎え入れるように励み、変革の年であった昨年からさらに飛躍したいと思えます。

2012年度 RAVENS 副将を務めさせていただきますことになりました、塩見健斗です。

わたしは、プレーヤーとして大した実績がある訳でもなく、特別優れた資質を持っているわけでもありません。そんな私が副将をしてどのようにチームを引っ張っていけるのだろうか日々模索しております。

昨年は、変化の年ということで今までとは違った取り組みを行いました。悔しくも2勝しかあげることが出来ませんでした。その悔しさを胸に、今年はスローガンである「全ては勝つために」を日々の取り組みから全員が常に意識して、秋には良い結果を残します。

本年度、主務を務めさせていただきます、仲谷一宏です。

OB・OGの方々、後援会・ファンクラブの方々、保護者の方々をはじめとするRAVENSをいつも応援して下さっている皆様、いつも温かい応援ありがとうございます。本年度のスローガンである「全ては勝つために」を実践すべく、今年もチーム一丸となって日々邁進していきたいと思っております。私自身、主務という立場上どうしても裏方の仕事になってしまいがちですが、主体性を持って「自分がチームを変革させてやるんだ」という思いで今年一年を懸けます。不出来な主務ではございますが、今後とも皆様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 1人で 歌いまくるぜ!

「趣味は一人でカラオケ」。見た目からは想像できない言葉が出てきた。

大勢でワイワイと行くのではなく、一人でカラオケに行く通称”ヒトカラ”。自分の行きたいときにふらっと行けて、気楽に楽しめるのが魅力だという。

インタビュー中、終始一人カラオケについて熱く語ってくれた。「初めてのとき、店員さんにどう思われるのか不安だったけど、入ってみれば全然気にならなくなって、はまってしまった」。「パンクロックのマキシマムザホルモンを、好きなだけ歌うと、他の何をするよりもスッキリする。最高のストレス解消法!」と、一押しのような。

## ありかわしょうたろう 有川昭太郎

OL **76**

海事科学部 4回生

身長 173cm

体重 120kg

出身高校 長崎西高校

入部のきっかけ

アメフトが格好よく見えたから

オフの過ごし方

一人でカラオケに行く

目標

自分に厳しく、他人に厳しく

尊敬してる選手

小澤(09年度主将)



左から井上 麻生 山岡

## いのうえようすけ 井上陽介

DB **22**

発達科学部 3回生

身長 166cm

体重 70kg

出身高校 六甲高校

入部のきっかけ

木村・山岡がいたから

オフの過ごし方

ピアノ

仲の良い友達

山崎(16)

目標

体幹を鍛える

## ギャップDB

「なにも話すことが無い」と苦笑するが、よくよく話を聞くと意外な一面の持ち主。

今では、ゆるいキャラクターで周りから可愛がられている井上だが、小学生の頃は、運動面から勉強面まで、出来ないことない完璧少年だったという。難関六甲高校に主席で入学し、入学生代表の挨拶をした経験もあり。そして小学生の頃からの趣味はピアノ。「時間がある時に家で弾いています。HYなどのポップス曲が気ままに弾けて好き」。

今期は1年を通じてアメフトに真摯に取り組むと誓った。この1年での成長が楽しみな1人である。

## 今月の顔



左から水内 佐藤 八田

## クレープ大好き

高校では野球に打ち込んだが、以前からアメフトに興味がありいち早く入部した。オフの日ももっぱら阪急西宮ガーデンズ内にあるクレープ屋に仲良しの選手と足を運ぶ。「大抵イチゴが入ったクレープを食べるかな。部活で起こった面白いできごとをわいわい話してるよ」。クレープ仲間の植原から見て、「先輩のものまねがめっちゃ上手い。爆弾発言もしょっちゅう面白いやつ」だそう。「早くうまくなって戦力になりたい。今年が勝負だと思って全力で取り組みます」。クレープで糖분을補給しつつ、頑張ってるらしい。

## はったれいじ 八田嶺志

WR

文学部 2回生

身長 181cm

体重 75kg

出身高校 茨木高校

入部のきっかけ

アメフトに興味があった

オフの過ごし方

クレープを食べに行く

仲の良い友達

2年生たくさん

尊敬してる選手

塩見(#19)・岩本(#82)



## たにぞえだいち 谷添大地

OL

海事科学部 2回生

身長 164cm

体重 90kg

出身高校 大阪桐蔭高校

入部のきっかけ

国立大でアメフトがしたかった

オフの過ごし方

大型バイクの教習

仲の良い友達

2年生全員

目標

増量、動けるOLになる

## 草アメフト経験者

サッカー、ラグビー、フラッグフット、草アメフト...小さいときからずっと運動部で活躍してきた。小学生のときにはラグビーで県大会で優勝経験あり。本人曰く、「小学生のときは、もっとシュツとしてたんですけど...中学から体重ばっか増えて...さらに受験太りで+10kgです」。

高校のときには部活動以外にも、趣味として「草アメフト」に参加。「高校生もいれば、30代くらいのおっちゃんもいて、教えてもらいながら、はしゃぎながらアメフトするのが楽しかったです」。

今も部活の楽しみは、同回生とはしゃぐことだと言う。歴代のOLのように、ムードメーカーとしても活躍してくれるだろう。

# 2011年度表彰式

1月22日(日)、国際文化学部の食堂にて  
2011年度表彰式が開催されました。

2011年度に活躍した選手・スタッフの中から  
後援会、ファンクラブ、OB会、コーチの投票によって  
各賞の受賞者が選ばれ、表彰されました。

応援団の方も駆けつけてくださり

今シーズンに向けての熱い応援をして頂きました。

他にも多くの方から熱のこもったメッセージを頂くことができ  
気の引き締まる1日となりました。

これからも熱いご声援をよろしくお願いします。

受賞者から喜びのメッセージを紹介します。



ドン・ジェームズ賞 (最優秀選手賞)

DB 梅本貴司 (旧 2)

昨年度主将としてチームを引っ張り  
続けたレイバズの精神的支柱。イン  
ターセプトで勝利にも貢献した。

このような素晴らしい賞に選んで頂きありがとうございます。本年度は4年間の間で最も責任を感じた反面、最も成長できた1年だったと感じています。来年度も変わらぬご声援をお願いします。



小宮賞 (最優秀ラインズマン賞)

DL 白石健太 (92)

周囲からの信頼も厚い今年度主将。持  
ち前の大きな体で力強く相手にタック  
ルをする姿は圧巻。

ずっと目標にしていた賞だったので、大変嬉しく思っています。いよいよ最終学年です。主将としてはもちろんプレーでも今以上にチームを引っ張れる強い人間に成長し、関西学生DLの頂点に立ちたいです。



最優秀オフェンス賞

QB 林将義 (7)

昨年のドン・ジェームズ賞に引き続  
き、2年連続で表彰。今シーズンも周  
囲の期待に応えるプレーをしてくれ  
るだろう。

昨年に続いて表彰していただきありがとうございます。しかし、僕自身まだまだだと思っているので最後の年、今まで以上に成長しチームを勝利に導けるQBになりたいと思います。



最優秀ディフェンス賞

LB 柳下裕介 (旧 52)

全身を使った力のこもったタックル  
で、相手オフェンスの攻撃を食い止め  
何度も試合の流れを変えた。

素晴らしい賞をありがとうございます。引退した今、どれほど充実した4年間を過ごしてきたか実感しました。支えてくれた方に心から感謝し、これからは支える立場として貢献したいと思います。



鳥居賞 (新人賞)

TE 久保勉

1回生ながら、持ち前の器用な身体能力  
で、周囲の注目を集めた。これからの活  
躍が大いに期待できる。

昨シーズンは一部リーグのレベルの高さを感じる事が出来た貴重なシーズンでした。まだまだ下手くそですが、上位のチームに勝てるようより一層トレーニングや練習に励んでいきたいです。



エリー賞 (最優秀スタッフ賞)

主務 橋本由香 (MGR)

昨年度主務としてチームには欠かせない  
存在だった彼女。大きな責任と重圧にも  
負けず、仕事を全うした。

このような素敵な賞を頂き、ありがとうございます。主務として多々いたらないこともあったかと思いますが、この一年間やってこられたのは周りの皆様のサポートがあったからです。本当にありがとうございました。

## 神大旋風前夜



### 90年度主将 小武卓見 先輩

【前列中央(#35)】

神大旋風、国立大決戦 レイバンズで今でも「伝説」として語り継がれる90シーズン。そんな年に主将としてチームを引っ張ったのが小武卓見先輩。深夜までミーティングを重ね、意識改革により、神戸大学を飛躍的に躍進させられました。

1 回生時は2部、そして1部復帰、2、3 回生時は入替戦ぎりぎりまで追い込まれ、4 回生時には当時チーム史上最高位の3位となった、「波乱万丈」の4年間。

2ヶ月に渡って、小武先輩の現役当時のお話をたっぷり掲載します。

### 秋シーズン

### 京大戦初勝利の立役者

レイバンズ史上、秋シーズンで初めて京大戦に勝利したのが、小武先輩が2回生の時。2回生ながら、チームの原動力となって活躍されました。「初戦という、学生スポーツで1番波乱が起きやすく、緊張する試合でしたが、動揺しそうなチームをQ、B津田さん、G名倉さんが引っ張り、オフエンスを落ち着かせてくれました」と振り返っていらっしやいました。この試合で嬉しかったのは同期西川先輩の活躍。前半に3本のTDを決められました。

しかし、そう簡単には試合を終わらせてくれないのが京大。「硬く、強く、痛い」京大の壁の前に、防戦一方となった後半。そんな中、重要なところでの先輩のインターセプトやフィールドゴールによる得点で、「チーム力の重要性を再認識した試合でもあった」と。試合後はクタクタで、あちこちが痛く、歩くのにも苦労したよ。

### 波乱万丈の4年間

小武先輩は現役で活躍された4年間を、「毎々が改革の時代で、その積み重ねが最終年度にチームの結果として出たと思っています」と振り返ります。

1回生のとき、4回生の先輩はアスリート揃いで、人数が多かったにも関わらず、チームは2部リーグ。「シーズン通してのモチベーションを高めるのは難しかったのではと想像します」。しかし、レイバンズを2部から1部にあげるべく強い気持ちで練習していた先輩達。「かなり厳しく、怖かったなあ」。負けられない試合が続く、一発勝負の試合の難しさを痛感した、とお話しくださいました。

1部昇格を果たし、2回生の時には、「レイバンズ史上でも最も練習するチーム」といわれるほどがむしゃらに練習したらしいです。それでもなかなか結果がでなかったのですが、どんな時でも気合が入っていた岩澤主将はチームに安心感を与え、チーム力を落とすことなく成長できたことと記憶している、とおっしゃいます。

3回生、4回生の時のお話、国立大決戦、現在の小武先輩についてのお話は、次号に掲載しますので、ご期待ください。

# 就活生の1日



この季節といえば、就職活動のはじまりです。  
 レイバンスの選手やスタッフも精を出して就職活動を行っています。  
 これから数回にわたってその様子をお伝えしたいと思います！  
 第1回はOL佐原将(67)。

8:00	みんなで食堂で朝ご飯
8:50~12:10	授業
13:30~15:30	ある企業の会社説明会
17:00~18:00	ある企業の説明会@クラブハウス
19:00~21:00	ミーティング
21:30~	みんなで晩ご飯



リラックスしてご飯を食べる佐原(右端)

就職活動が本格的に始まって3ヶ月が経ちましたが、この間にとっても成長出来たかなと思います。まだまだ未熟ながらも少しは社会の構造が見えるようになり、何をやるにしても考えるようになりました。

また、たくさんの社会人の方にお話を聞く機会が非常に多く、どれも為になることばかりです。この経験を糧に、自分に合った企業を見つけ、どんどん自分をアピールして行って、納得のいく就職活動とし、両親を安心させたいと思います。

OL 佐原将



真剣な様子の佐原

## お知らせ

### 次号予告

- ・OB 特集
- ・新コーチ紹介
- ・今月の顔
- ・就活生の一日常など。

来月号もどうぞお楽しみに！

今月から、あとがきを「今月のスタッフ」に書いてもらうことになりました。マネージャーだけではなくトレーナー、アナライジングスタッフも登場します。今月はRAVENS 便り担当の新2回生マネージャー安高里恵です！

### 今月のスタッフ MGR りえ



まだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。4回生が引退し、新たな体制でのレイバンスがスタートしました。RAVENS 便りも新しい企画等を盛り込み、皆様楽しんで頂けるよう頑張りますので、どうぞ今年一年もよろしくお付き合い致します!! りえ